

2026 年度未来社会デザイン塾 塾生募集要項

東北大学知の創出センター
未来社会デザイン塾事務局
tfc_pg@grp.tohoku.ac.jp

東北大学知の創出センターでは、2020 年から「未来社会デザイン塾」を運営してきました。このたび、東北大学学内学外に開かれた 2026 年度未来社会デザイン塾生 50 名を募集します。奮ってご応募ください。

2026 年度未来社会デザイン塾は、2025 年度に引き続き、4 つのテーマにわたって開催されます。

- テーマ 1 デジタル×サステナブル未来社会のデザイン
- テーマ 2 海洋と人の共生を目指す未来社会のデザイン
- テーマ 3 人生 100 年時代の未来社会のデザイン
- テーマ 4 地方から未来を創る：持続可能で心豊かな社会のデザイン

テーマ 1、3、4 は、ほぼ毎月集合して、グループワーク・ワークショップを行います。それぞれ 30 時間のコースとして不定期に 5 月から 2 月までに行われます。公開でおこなうものも含まれます。塾生は、テーマ 1、3、4 のうちの一つ以上に参加して議論し、デザイン提案をまとめていただきます。テーマ 2 は対話イベントを一回行う予定ですが、塾生にはこれのサポーターとしての参加が推奨されます。選択したテーマ以外の公開ワークショップにも参加が推奨されます。議論を深め、デザイン提案をまとめた学内学外の塾生には、修了証および東北大学専門オープンバッジを発行します。

各テーマでの活動は以下の通りです。

テーマ 1 では、これまで未来社会デザイン塾で開発してきたオンラインツール・AI ツールを駆使して、未来社会のデザインを提案するストーリーを構成し文章化します（オンライン参加も可能です）。

テーマ 3 では、人生 100 年時代の未来社会のデザインのためのワークショップ・講演会の企画を塾生グループ自身で考えていき、実際に講師招聘し、ワークショップ・講演会の準備を行い、開催します。この成果の広報も行い、企画の評価を行います。

テーマ 4 では、仙台周辺の地場産業等の見学、当該産業を持続可能にするための方策の提案などを行います。現地へのフィールドワークを含みます。どこを訪問するかの検討から始めて、訪問先との調整等も行います。

テーマ2では、東北大学・海洋研究開発機構 変動海洋エコシステム高等研究所と連携して、海洋科学などの専門家や学生があつまり、海洋と人が共生する未来について考える対話の場づくりを予定しています。

また、未来社会デザイン塾について、コース・ワークショップの準備作業、ワークショップ実施時のファシリテータ、報告記事のレポーター等を務めてくれる東北大学の学生・大学院生はアドミニストレイティブ・アシスタント(AA)として雇用される形で参加いただけます。AAの勤務時間に応じて東北大学の規定に従い給与を支払います。AAとしての雇用を希望する応募者は、応募書類にて明示してください。面接の上、AAとしての採用を決定します。

塾生に応募いただける方、AAとして塾生に応募いただける方は、ともに以下のフォームに記入してください。



<https://x.gd/MQySM>

応募期限は、2026年4月21日です。塾生に採用された方には、5月初めにメールにてお知らせします。AA採用希望者には面接のお知らせもお送りします。

未来社会デザイン塾担当

- * 山内保典（東北大学高度高等教育支援機構）テーマ1
- * 飯田綱規（東北大学・海洋研究開発機構変動海洋エコシステム高等研究所）テーマ2
- * 黄 璐（東北大学研究推進支援機構知の創出センター）テーマ2・テーマ3
- * 高浦康有（東北大学大学院経済学研究科）テーマ4
- * 倉田祥徳（東北大学研究推進支援機構知の創出センター）テーマ1・テーマ4
- * 影山徹哉（東北大学研究推進支援機構知の創出センター）
- * 前田吉昭（東北大学研究推進支援機構知の創出センター）
- * 坪井 俊（東北大学研究推進支援機構知の創出センター）

問い合わせは、未来社会デザイン塾事務局 tfc_pg@grp.tohoku.ac.jp へお願いいたします。
ウェブページは <https://www.tfc.tohoku.ac.jp/special/future-design/> です。